

保護者の方、地域の方からも、温かな声や伊佐見小学校をよりよい学校にするための貴重な御意見を多数お寄せいただきました。ありがとうございました。いただいた御意見を参考にさせていただき、児童の成長や自己実現につながる教育活動を行っていきたくと考えています。また、保護者の皆様から気軽に御相談いただける環境づくりを心掛け、より一層「信頼される学校づくり」「子供が行きたくなる学校」「保護者が行かせたくなる学校」「地域が応援したくなる学校」を目指します。

今後とも、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。



令和6年度に向けて ～学校教育目標 「こころざしをもち 高め合う」～

令和6年度は、目指す子供の姿を「ちがいをちからにかえる 伊佐見の子」、目指す学校の姿を「安心して精一杯学び合える 活力ある学校 ～子供を主語に推進する教育課程～」とし、「ふかめる」「みとめあう」「やりぬく」の3つを重点目標として、子供一人一人が、夢を持ち、自己実現に向けて生き抜く力を身に付けていくことを目指して教育活動を行っていきます。そのために、教育課程を以下のように計画しました。

1 「ふかめる」～自ら学びを進め、ともに深める子～ に向かって

① 子供が「自分事」として物事を捉えて学びを進めたり、交流を通して学びを深めたりする「主体的・対話的な学び」を推進していきます。

令和5年度に続き、子供たちが見通しを持ち、学習のゴールに向かって粘り強く取り組むことのできる授業（子供たちが「やってみよう」と思う授業）、自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かすことのできる授業（子供たちが「分かった」「できた」「もっと深めたい」と思う授業）を行っていきます。

伊佐見小学校では、日々の授業で考えを伝え合う活動を取り入れてきました。令和6年度はさらに、友達と関わり、自らの学びを深めていくことのできる授業を目指します。

② ICTの活用と情報教育の充実を図ります。

授業やその他の活動で、積極的にタブレットに触れる機会をつくり、情報活用能力の育成に努めます。タブレットの使用に慣れるだけでなく、子供たちがインターネットやSNSによる犯罪等に巻き込まれないよう、新たに年に2回の「情報ウィーク」を設定します。その期間には発達段階に応じた「情報モラル」教育にも取り組み、情報を正しく安全に利用できる力の育成にも取り組んでいきます。

授業では、効果的にタブレットを使用して、自分の興味関心に応じて調査を進めたり、自分の考えをまとめたりする「一人一人の能力や特性に応じた学習」と、個人の考えを発表したり、様々な考えを共有・整理したりする「子供たち同士が教え合い学び合う学習」を行っていきます。

また、令和6年度からは、週に1回程度、子供たちがタブレットを自宅に持ち帰り、タブレットを使った家庭学習を行う機会も作っていく予定です。

③ キャリア教育の充実を図ります。

「キャリア教育」とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」です。教育活動全体を通し、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」という4つの力の育成を目指します。自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現できる子供を育てるために、各教科の学習や行事等の中で、計画的に指導をしていきます。また、子供たちが自らの将来について夢や目標、あこがれを持ったり、今学んでいることが、未来の自分の生き方につながっていることを感じたりすることができるよう、日頃の学習において意識付けを図っていきます。

2 「みとめあう」～ちがいを認め、生かし合う子～ に向かって

④ 学級で話し合う場を大切に、話し合い活動や「クラスミーティング」の充実を図ります。

学級で話し合う活動を設定することで、一人一人の置かれた立場や経験の違い、考え方や思いの違いを、受け止め、生かし、学級をよりよくすることにつながる可以考虑。各学級で楽しみ会を計画したり、日常の学級の問題について話し合ったりする活動（学級活動）を計画的に行い、子供たちが協力して温かい学級をつくることできるように支援します。また、朝の活動の時間（いさみっ子タイム）に、「クラスミーティング」を月1回行います。例えば、「海と山、行きたいのはどっち?」「一つの教科しか学べないとしたら、どの教科を学ぶか?」などの話題について自分の思いを伝え、対等な立場で意見交換をする楽しさをみんなで味わいます。

⑤ **6月を「命の月間」「いじめゼロ月間」とし、命の大切さについてじっくり考えます。**

命の大切さに気付き、自分や友達を大切にしたり、互いのちがいを認め、応援し合いながら生活したりできる子供の育成のため、6月を「命の月間」「いじめゼロ月間」に設定し、朝の会や道徳の授業、代表委員会等で「大切な命」についてじっくりと考える機会を設けていきます。また、心の日や、朝会での校長の話も、テーマを「大切な命」とします。

⑥ **児童理解や個に応じた指導を充実させ、児童一人一人の自己実現を支援します。**

児童アンケートを定期的実施したり、個別に面談したりする時間を設けたりし、子供が気軽に相談できる関係づくりや、教育相談の機会を大切に、子供たちや保護者の方に気軽に御相談していただける環境づくりに努めます。そして、得られた情報やうかがったことを個々の把握や個に応じた指導に生かしていきます。また、校内では定期的に「いじめ対策委員会」を行い、組織で対応することで、子供たち一人一人が安心して生活できる学校・学級づくりに努めます。そして、一人一人の居場所を見つけ、自己実現を支援します。

⑦ **明るく活気ある学校づくりを目指し、「あいさつ運動」を推進します。**

毎日の明るい挨拶を通して、笑顔で前向きに生活することができたり、人間関係を良好にしたりすることができると考えます。より一層明るく活気ある学校づくりを目指し、各学期に1回、「挨拶」を生活のめあてに設定し、伊佐見小の挨拶をさらに盛り上げていきます。

⑧ **本校の3大行事を通して「自己有用感」の向上を目指します。**

「光のシンフォニー」「運動会」「持久走記録会」は、子供たちの人間関係づくりや、互いの違いを認め合い、応援し合うことに大きくつながり、これらの行事を通して子供たちの「自己肯定感」「自己有用感」を高めることができると考えます。一つ一つの行事への取り組みを通して、自分のよさや、友達のよさに気付くことができるよう、支援していきたいと思います。

3 「やりぬく」～しなやかに、力強くやりぬく子～ に向かって

⑨ **レジリエンス教育に取り組みます。**

レジリエンス教育とは、「子供たちのレジリエンス（逆境に負けない力）を鍛え、困難や失敗に直面して落ち込んでも、立ち直ることができるように育てていくこと」です。子供たちが、周りの人との考え方や立場の違いを受け止め、円滑に人間関係づくりする姿を目指し、子供の思いに沿いながら支援していきます。また、失敗を恐れず、挑戦する姿勢を応援していきます。来年度も「おうちでほめほめタイム」を実施予定です。ぜひ、お子さんの頑張り（結果だけではなく、努力の過程も）を家庭でたくさん認め、褒めていただけますよう、よろしくお願いいたします。

⑩ **健康教育を充実させ、健康・安全への意識を高めます。**

保健週間や給食週間、委員会活動などの機会を捉え、発達段階に応じて日頃の生活習慣や健康管理・食事を見直したり、スマートフォンやゲームの影響や利用の仕方について考えたりする機会をつくり、健康・安全への意識を高めていきます。また、運動に一層親しみ、体力アップにつながるような、体育科の学習におけるなわとびカードや持久走カードなどの活用、サーキットトレーニングの充実等をしていきます。

⑪ **防災教育・交通安全教育を充実させます。**

令和5年度には、地震発生時に、より早くより高く避難して津波から命を守ることができるようにと考え、「西江院」（伊佐見小北側の山）への避難訓練を行いました。令和6年度も大切な命を確実に守ること

ができるように、様々な場合を想定しての訓練を重ね、未告知の訓練も行っていきます。また、子供たちの交通安全への意識を一層高めたり、高学年の交通安全リーダーとしての意識付けを図ったりするために、の集団下校を実施します。

4 互いのちがいを力に変え、仲間とともに目標に向かってやり抜く力を高めたり、達成感や充実感を味わったりすることのできる学校行事を実現するために

⑫ 学級の絆づくり、友達のよさを見つけることや、環境を広い視野で見つめることをねらいとして、「林間学校（観音山少年自然の家）」を6月に行います。（5年生）

令和6年度は、特に1学期を学級の絆づくりの学期とおさえ、居心地のよさ、ほっとできる安心感や、温かさの感じられる学級づくりに全校で取り組みます。5年生では、多くの経験を通して、友達のよさを多く見つけることができる林間学校を6月に行い、互いに認め合う学級づくりに生かしていきます。総合的な学習の時間や社会科の学習で環境学習を行います。実際に山の自然を五感で味わうことで、子供たちがさらに視野を広げ、環境を広い視点で捉えることができるようにしていきたいと考えます。

⑬ 全校児童が、互いのよさを認め合うことのできる「光のシンフォニー」を9月に「サーラ音楽ホール」にて行います。

令和5年度も、保護者の皆様の御理解・御協力のもと、「光のシンフォニー」を「サーラ音楽ホール」で開催しました。一生懸命に練習してきた成果を、全校児童で参観し合い、子供たちは達成感や満足感を得ることができ、自信につながりました。保護者の皆様にも初めて、会を最初から最後まで御参観いただくことができたことも、子供たちにとっては大きな喜びとなりました。令和6年度も、互いのよさを認め合える音楽会にするために、9月に「サーラ音楽ホール」（浜名区新都田）にて、「光のシンフォニー」を行います。広いホールを使用することで、保護者の方も含め、全校児童みんなで、心を合わせて頑張ってきたことを認め合う場にしたいと考えています。

⑭ 熱中症から子供たちを守り、目標に向かって精一杯取り組むことのできる「運動会」とするために、「運動会」を11月に行います。

ゆとりを持って練習に取り組み、熱中症や感染症の心配が少ない時期に安心して実施することができるよう、令和5年度は運動会を11月に実施しました。子供たちは、雨の心配や熱中症の心配なく、練習に取り組むことができました。運動会当日は急な寒さとなりましたが、寒さに負けず、力いっぱい競技や演技に取り組むことができました。

来年度も、子供たちが最大限力を発揮し、やり抜く力を高めたり、互いを応援し合ったりすることのできる最高の運動会となるよう、11月に実施したいと思えます。引き続き感染症の状況にも配慮しつつ、全校で互いの頑張りを認め合うことのできる運動会にしたいと考えています。

⑮ やりぬく力を育成する持久走記録会を1月に行います。

ゆとりを持ち、それぞれの目標に向かって練習をしたり、自分の記録を見つめ練習計画を考えたりすることができるように、来年度も持久走記録会を1月に行います。練習期間は11月末から1月の間を予定しています。自分の記録に向かって、粘り強く練習に取り組むことができるように励ましていきます。



5 家庭・地域とともに成長していく学校にするために

⑯ 保護者の方々とじっくり話すことのできる三者面談を年3回設定します。（4月は、希望制の三者面談に。）

伊佐見小学校は、お子さんの成長や課題を保護者の方々と共有し、指導に生かしていきたいと考えます。本年度は4月に希望制の家庭訪問を行いました。よりじっくりお話する時間を持ちたいと考え、来年度の4月は希望制の三者面談を設定させていただきました。希望調査は締め切りですが、もし希望を変更したい場合には、各担任までお知らせください。また、本年度同様、7月（1学期末）と、12月（2学期末）にも全員の三者面談を設定しました。今後も家庭と学校とで連携し、子供たちを育てていきたいと思

います。

⑰ 学校運営協議会と協力し、多様な体験活動や学びの場をつくっていきます。

令和3年度から、教育活動を充実させ、保護者や地域のみなさんの声を学校運営に生かして、地域と一緒に「特色ある学校づくり」を進めていくためにコミュニティ・スクールを導入し、本年度も多くの保護者の方や地域の方に御協力をいただきました。ありがとうございました。来年度も行事の運営ボランティアや、読み聞かせボランティア・学習ボランティア、クラブ活動や部活動の時間に一緒に活動をしてくださる方等の募集を行い、多様な体験活動の場や学びの場をつくっていきます。4月以降に募集をします。多くの保護者の方々の御参加をお待ちしております。

～伊佐見小学校の教育に関するアンケート結果をお知らせします～

11月に行った「伊佐見小学校の教育に関するアンケート」の集計結果や概要をお伝えします。

なお、アンケートは、①とてもそう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤分からない の記号から御回答いただきました。以下のアンケートの結果は、「①とてもそう思う ②まあそう思う」と御回答いただいた人数の割合を示しています。

【児童アンケートの結果】

	児童	(%)
	①伊佐見小学校に楽しく学校に通っている。(伊佐見小学校が好きである。)	90.8
	②自分のめあてを持ち、めあてに向かって力いっぱい取り組んでいる。	86.2
ふかめる	③授業中、意欲的に学習に取り組んだり、進んで発表したりしている。	70.9
	④授業中、友達の考えをよく聞いて、考えを深めることができている。	87.6
	⑤学習内容が理解できるまで勉強している。	81.6
	⑥勉強が分からないときには、先生が分かりやすく教えてくれたり、手助けをしてくれたりする。	91.9
	⑦自分で計画を立てて勉強している。	74.2
	⑧毎日、決められた時間、家庭学習をしている。	74.6
	⑨読書の習慣が身に付いている。	66.1
みとめあう	⑩友達や先生、地域の人に進んで挨拶している。	90.6
	⑪わたしのクラスは楽しく、教室は安心できる場所である。	84.6
	⑫わたしは、互いのちがいを認め、友達のよさを進んで見つけ、協力して生活している。	86.6
	⑬わたしは、命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。	97.1
	⑭先生は、がんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。	89.0
	⑮学校の決まりを守って生活している。	92.5
やりぬく	⑯学校行事に向かって一生懸命取り組み、やり抜く力を高めている。	93.4
	⑰力いっぱい運動したり、休み時間に進んで運動したりしている。	68.3
	⑱交通のルールを守り、安全に気を付けて生活している。	94.1
	⑲毎日、早寝・早起きをしている。	75.7
	⑳毎日、朝ご飯を食べている。	95.6
㉑自分やみんなが健康に過ごせるように、手洗い・うがいを進んでしたり、消毒や換気をしたりし、健康に気を付けて生活している。	92.5	
連携	㉒学習や生活について、先生に相談しやすい。	79.0

児童アンケートの結果から、多くの子供たちが、「楽しく学校に通っている、伊佐見小学校が好きである。」と感じており、「自分や友達のことを大切にしてお過ごし」温かい雰囲気の中、生活できていることがうかがわれました。光のシンフォニーや運動会、持久走記録会など、様々な行事を実施しましたが、子供たちがそれぞれの目標を設定し、「学校行事に向けて一生懸命に取り組み、やり抜く力を高めている」と感じていることもよく分かりました。また、子供たちそれぞれのちがいをよいこととして受け止め、認め合い、互いに応援し合う姿も、行事や日頃の生活の中で多く見られるようになりました。

一方で、子供たちの中には、「意欲的に学習に取り組んだり、進んで発表したりする」ことができていな

いと感じている子がいることが分かりました。学校では、日々の授業で、自分の考えを伝え合う活動を行うことで、友達の考えを温かな心で受け止めて聴く姿勢が身に付いてきています。今後も、学習の中に交流の時間を積極的に取り入れ、友達の考えを聴いたり自分の考えを伝えたりし、友達と関わりながら自らの学びを深めていくことができる授業を目指します。また、子供たちが学習を一層自分事として捉え、見通しを持って進んで学習に取り組むことができるような支援をしていきます。1人1台配置されているタブレット端末を発達段階に応じて授業の中で有効に使い、個々の学びが深まるようにしていきたいと考えています。子供たちが自らの将来について夢や目標、あこがれを持ったり、今学んでいることが、未来の自分の生き方につながっていると感じたりすることのできる教育（キャリア教育）を進め、主体的に学ぶ姿勢を育てていきます。

また、アンケート結果から、学習や生活について、職員になかなか相談できない子供がいることも分かりました。今後も、アンケートの実施や、子供の相談体制の充実を図り、子供たちが安心して登校し、笑顔で過ごすことができるような学校を目指していきます。

【保護者アンケートの結果】

	保護者	(%)
	①お子さんは、楽しく学校に通っている。	92.7
ふかめる	②お子さんは、学習内容をよく理解している。	78.9
	③学校は、楽しく分かりやすい授業をしている。	83.5
	④お子さんは学校で決められた時間、家庭学習をしている。	57.0
	⑤お子さんは、読書に親しんでいる。	44.4
	⑥お子さんは、進んで挨拶している。	71.1
みとめあう	⑦お子さんは、友達と仲良く、安心して生活することができている。	92.0
	⑧お子さんは、互いのちがいを認め、よさを生かし合って生活している。	83.3
	⑨お子さんは命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。	96.3
	⑩学校は、お子さんのことを理解し、心の変化や悩みに敏感に対応している。	80.6
	⑪お子さんは、規範意識が身に付いている。	91.7
	⑫お子さんは、学校行事に向かって一生懸命に取り組み、達成感や充実感を味わったり、やり抜く力を高めたりすることができている。	93.5
やりぬく	⑬お子さんは力いっぱい運動し、体力を向上させたり、運動の習慣を身に付けたりしている。	80.8
	⑭お子さんは、交通のルールを守り、安全に気を付けて生活している。	95.9
	⑮お子さんは、早寝・早起きの習慣が身に付いている。	76.9
	⑯お子さんは、毎日朝ご飯を食べている。	96.7
	⑰学校は、「新しい生活様式」を意識し、社会の状況を踏まえながら教育活動を行っている。	86.6
連携	⑱学校は、相談体制（教育相談やスクールカウンセリングなど）が充実し、相談がしやすい。	90.5
	⑲学校の情報や子供の様子が、便りやHP等でよく分かる。	84.2



保護者アンケートの結果からも、多くの子供たちが、「学校に楽しく通っていること」「友達と仲良く、安心して生活していること」「自分や友達のことを大切にしていること」が分かりました。御家庭で、学校での出来事や頑張っていることを丁寧に聴き、温かい励ましの言葉を掛けていただいていることが、子供たちの学校生活への満足につながっています。日頃より、御支援をありがとうございます。

一方で、「早寝・早起き・運動などの生活習慣を身に付け、健康的な生活を送ること」に課題が感じられました。これからも、発達段階に応じて生活時間を見直したり、スマートフォンやゲームの影響や利用の仕方について考えたりする機会をつくり、健康・安全への意識を高めていきます。また、「決められた時間、家庭学習に取り組むこと・読書に親しむこと」ができるように、年度の始めに「伊佐見小学校家庭学習の手引き」を配布します。自分に必要な学びを見つけ、進んで家庭学習に取り組むことができるように学校でも声を掛けていきます。御家庭でもお子さんの学びを見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

挨拶については、子供たちの自己評価は高かったものの、保護者・地域・教職員の評価は低い傾向にありました。子供たちが、互いの心が通い合うような温かい挨拶ができるようになるとよいと感じています。今後も元気な挨拶が響き合い、みんなが明るい気持ちで過ごせる伊佐見小を目指して、挨拶が盛り上がるよう

な手立てを講じていくとともに、まずは私たち職員が笑顔で挨拶をしていきたいと思ひます。

【地域の方（学校運営協議会委員の方10名）のアンケート結果】

	地域	(%)
	①学校教育目標「こころざしをもち 高め合う子」及び目指す子供像「ちがいをちからにかえる伊佐見の子」にそった教育活動が行われている。	100.0
ふかめる	②教職員は、基礎的な学力が身に付くような楽しく分かりやすい授業をしている。	80.0
	③教職員は、子供の興味や意欲を高めるように授業を工夫している。	80.0
	④教職員は、子供が学校での学びと社会とのつながりを意識することができる学習活動を行っている。	100.0
みとめあう	⑤子供たちは、地域の人に進んで挨拶できる。	70.0
やりぬく	⑥子供たちは、交通のルールを守り、安全に気を付けて生活している。	100.0
連携	⑦学校は、家庭・地域との連携・協力を進めている。	100.0
	⑧学校の情報や子供の様子など、本校の教育活動が、便りやHPでよく分かる。	100.0

令和6年度も引き続き、温かい雰囲気の中、互いの置かれた立場や経験などを想像して多様な考えや思いを認め、受け止めたり、対等な立場で話し合って学びを深め、課題解決したりする子供の姿を目指して教育活動を行ってまいります。

皆様の御理解・御協力をよろしくお願ひいたします。

